

令和6年度 学校評価に係る保護者アンケート結果

〈回答数〉 46名（小学部：22名、中学部：7名、高等部：9名、訪問教育：6名）

〈回答率〉 61%

〈評価基準〉 A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない ?：わからない (%)

1	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	登校生：子どもは、楽しく学校に通っている。 訪問生：子どもは、楽しく授業を受けている。	幼・小学部	95.5	4.5	0	0	0
在校全体はA・Bの合計が100%であり、児童生徒にとって学校や授業が楽しみであると評価されている。 訪問教育はA・Bの合計が約67%でありCが33%である。保護者や施設職員との共通理解のもと、教育活動の一層の充実改善に努めていく。		中学部	88.9	11.1	0	0	0
		高等部	100	0	0	0	0
		在校全体	94.8	5.2	0	0	0
		訪問教育	50.0	16.7	33.3	0	0
2	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、子ども一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた指導を行っている。	幼・小学部	95.5	4.5	0	0	0
在校全体はA・Bの合計が100%であり、適切に実施していると評価されている。 訪問教育はA・Bの合計が約67%でありCが33%である。児童生徒の教育的ニーズの把握に努め、保護者や施設職員との共通理解のもと教育活動の充実に努めていく。		中学部	88.9	11.1	0	0	0
		高等部	77.8	22.2	0	0	0
		在校全体	87.4	12.6	0	0	0
		訪問教育	50.0	16.7	33.3	0	0
3	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、ICTを活用した教育実践を行っている。 (タブレット端末、パソコン、インターネット、オンラインシステム等を使った授業など)	幼・小学部	63.6	27.3	0	0	9.1
在校全体はA・Bの合計が約90%であり、適切に実施していると評価されている。 訪問教育は?を除いてA・Bの合計が約86%であり、適切に実施していると評価されている。また、Dや?も一定数あることから、ICTの活用に関する保護者ニーズの把握や教育実践の丁寧な説明に努めていく。		中学部	33.3	44.4	11.1	0	11.1
		高等部	66.7	33.3	0	0	0
		在校全体	54.5333	35.0	3.7	0	6.7
		訪問教育	16.7	33.3	0	16.7	33.3
4	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	子どもは、自分の方法で人とやりとりする力（表現する力・伝える力、受ける力・理解する力）が身につけてきている。	幼・小学部	54.5	40.9	4.5	0	0
在校全体はA・Bの合計が約95%であり、児童生徒個々に応じたコミュニケーション能力が培われていると評価されている。 訪問教育はA・Bの合計が約67%でありCが約33%である。保護者や施設職員との共通理解のもと、児童生徒の実態に応じた教育活動の充実に努める。		中学部	66.7	22.2	11.1	0	0
		高等部	66.7	33.3	0	0	0
		在校全体	62.6	32.1	5.2	0	0
		訪問教育	66.7	0	33.3	0	0
5	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	個別の指導計画は、子どもの実態や課題を踏まえ、学習の成果や成長の様子がわかりやすく書かれている。	幼・小学部	100	0	0	0	0
在校全体はA・Bの合計が約96%であり、適切に実施していると評価されている。 訪問教育はA・Bの合計が約83%であり、適切に実施していると評価されている。		中学部	88.9	0	11.1	0	0
		高等部	88.9	11.1	0	0	0
		在校全体	92.6	3.7	3.7	0	0
		訪問教育	33.3	50.0	16.7	0	0
6	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、いじめや体罰がなく、子どもは安心して過ごすことができています。	幼・小学部	95.5	4.5	0	0	0
?を除いていずれもA・Bの合計が100%であり、児童生徒の安心・安全が守られていると評価されている。		中学部	88.9	11.1	0	0	0
		高等部	88.9	0	0	0	11.1
		在校全体	91.1	5.2	0	0	3.7
		訪問教育					

7	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、ホームページや学校だより、学級通信等で、児童生徒の様子や学校の教育活動を積極的に伝えている。	幼・小学部	95.5	4.5	0	0	0
		中学部	55.6	33.3	11.1	0	0
在校全体はA・Bの合計が約96％であり、適切に実施していると評価されている。 訪問教育はA・Bの合計が83％であり、適切に実施していると評価されている。		高等部	66.7	33.3	0	0	0
		在校全体	72.6	23.7	3.7	0	0
		訪問教育	66.7	16.7	16.7	0	0
8	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	P T A 活動は、保護者と教職員が協力して行われている。 (茶話会、広報紙「きずな」の作成、研修会の実施、ベルマーク・再生資源回収など)	幼・小学部	77.3	18.2	0	0	4.5
		中学部	44.4	55.6	0	0	0
?を除いてA・Bの合計が95％を超えており、適切に実施していると評価されている。		高等部	55.6	33.3	0	0	11.1
		在校全体	59.1	35.7	0	0	5.2
		訪問教育	33.3	16.7	0	0	50
9	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、保護者が見通しを持って進路選択ができるよう、必要な情報を提供しながら進路指導を行っている。(進路だよりの発行、進路説明会、適宜の情報提供など)	幼・小学部	77.3	13.6	4.5	0	4.5
		中学部	44.4	44.4	11.1	0	0
在校教育はA・Bの合計が93％であり、適切に実施していると評価されている。 訪問教育はA・Bの合計が50％であり、C・Dの合計が約33％である。現状に十分満足していないケースも一定数あることから、保護者ニーズの把握と丁寧な情報提供に努めていく。		高等部	88.9	11.1	0	0	0
		在校全体	70.2	23.0333	5.2	0	1.5
		訪問教育	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
10	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、児童生徒の健康や指導上の問題が起きたときに、保護者に必要な情報を素早く伝え、連携して対応している。	幼・小学部	90.9	9.1	0	0	0
		中学部	66.7	33.3	0	0	0
?を除いて100％であり、適切に実施していると評価されている。		高等部	77.8	22.2	0	0	0
		在校全体	78.4667	21.5333	0	0	0
		訪問教育	33.3	16.7	0	0	50
11	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	☆医ケア生保護者のみ回答して下さい☆ 学校は、保護者や医療機関と連携して医療的ケアを適切に実施している。	幼・小学部	100	0	0	0	0
		中学部	50.0	50.0	0	0	0
A・Bの合計が約96％であり、適切に実施していると評価されている。		高等部	66.7	22.2	0	11.1	0
		在校全体	72.2	24.1	0	3.7	0
		訪問教育					
12	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、地域（町内会、小中学校等）と連携した特色ある教育活動を行っている。（ゲストティチャー、交流及び共同学習、町内会活動への参加など）	幼・小学部	40.9	45.5	4.5	0	4.5
		中学部	11.1	77.8	0	0	11.1
在校全体は?を除いてAとBの合計が約100％であり、適切に実施していると評価されている。		高等部	22.2	44.4	0	0	33.3
		在校全体	24.7	55.9	1.5	0	16.3
		訪問教育	0	16.7	0	0	83.3
13	評価項目	学部等	A	B	C	D	?
	学校は、授業や行事を参観する機会を十分に設けている。	幼・小学部	77.3	23.7	0	0	0
		中学部	66.7	33.3	0	0	0
在校全体はA・Bの合計が100％であり、適切に実施されていると評価されている。 訪問教育はA・Bの合計が50％、CとDの合計が33.4％である。現状に満足していないケースも一定数あることから、保護者ニーズの把握と改善に努める。		高等部	66.7	33.3	0	0	0
		在校全体	70.2	30.1	0	0	0
		訪問教育	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7

14	評価項目	学部等	A	B	C	D	？
	事務職員は、事務手続きの説明や相談に適切に応じている。	幼・小学部	63.6	22.7	4.5	0	9.1
		中学部	22.2	66.7	0	0	11
在校全体は A と B の合計が77%であり、概ね適切に実施していると評価されている。 訪問教育は？を除いて A と B が1 0 0 %であり、適切に実施していると評価されている。		高等部	44.4	11.1	11.1	0	33.3
		在校全体	43.4	33.5	5.2	0	17.8
		訪問教育	33.3	16.7	0	0	50.0

【総括】

- ・ 在校教育及び訪問教育ともに、高い評価をいただくことができた。
- ・ 在校教育では、項目 1（楽しみな学校）、項目 5（個別の指導計画）、項目 11（医療的ケア）で A 評価が 100% である学部あったとともに、A 評価と B 評価の合計が 100% である項目が 6 項目にのぼった。
- ・ 訪問教育では、A 評価が 100% の項目は見られなかったものの、A 評価と B 評価の合計が 100% である項目が 4 項目であった。
- ・ アンケート結果を踏まえ、引き続き幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた丁寧な指導に努めるとともに、保護者との情報共有や連携を図りながら教育活動と学校運営の一層の充実改善に努めていく。